

「凡事徹底 日々新生」日頃を大切に、当たり前のことを徹底的に行う、そこに初めて新たな価値が見いだせる。こんな話を4月の始業式でみなさんに話しました。入学式では、「汗をかくこと」「チャレンジすること」の大切さを話しました。

1 学期を振り返ってみますと、日常生活、日々の授業・実習、部活動、すべての面においてみなさんは大変良く頑張ったと思います。特に家畜審査競技県大会での全部門優勝、意見発表県大会「文化・生活の部」優勝、プロジェクト発表県大会全部門優勝、まさしく農業のリーディングスクールにふさわしい活躍であったと思います。

部活動においても、それぞれの部がそれぞれの目標に向かってひたむきに努力した成果が少しずつ出始めています。全国も決して夢ではないということを多くの方が、多くの部が示してくれています。昨日の野球の全校応援でもグラウンドとスタンドの一体感を感じ取ることができました。みんなが一人のために、一人がみんなのために、全力でプレーし、全力で応援する姿に、出雲農林高校の魂を、耕魂の精神を感じるすることができました。

1 学期のみなさんの頑張りを見てみると、今まさに出雲農林高校の時代が来ているという気がしています。今日は、そんなみなさんに「桃太郎の話」をしておきたいと思います。

「桃太郎の話に出てくる人物でもっとも幸運だったのは誰なのか？」

鬼ヶ島で鬼を退治した桃太郎だったのか。

桃太郎に吉備団子をもらって鬼退治に参加した犬、猿、キジだったのか。

川で桃を拾ってきたおばあさんだったのか。

山へ芝刈りに行ったおじいさんだったのか。

みなさんはどう思いますか？

ある上場企業の社長で土井さんという方がいらっしゃいますが、その方はもっとも幸運だったのは間違いなく「おばあさん」だったと言っています。

おばあさんは、川で大きな桃が流れてくるのに運良く遭遇した。また、そんな大きな桃を気味悪がらずにゲットしたことも幸運であった。そんなことを考えると確かにおばあさんは幸運であったでしょう。

しかし、その幸運は決して偶然ではなかったと思います。おばあさんは毎日欠かさず川で洗濯をしていました。桃に会うべくしてあったわけです。また、毎日川で洗濯をしているときに様々なものが川上から流れてくるのを見ていました。時には大きな丸太が流れてくることもあったでしょう。時には、穴のあいたガラクタの鍋が流れてくることもあったでしょう。また時にはお札が入った財布が流れてくることもあったかもしれません。おばあさんは、毎日洗濯をする中で物事の善し悪しを見分ける力をつけたのです。また、大きな桃を川の中で逃すことなく捕まえました。そんな体力も養われていたわけです。

みなさんも幸運な人になるためには、毎日欠かさず川で洗濯をすることが大切です。いつ何時大きな桃が流れてくるかわかりません。そのときにその桃を逃すことなくゲットするために毎日欠かさず川で洗濯をしてほしい。そうすれば必ず幸運な人になれるでしょう。

明日から始まる夏休み、校長からも宿題を出しておきます。

【夏休みの宿題】

1年生：自己の振り返り

- 自分が高校に入学して以来、がんばっている点を10個言えるようにしなさい。
(どんな些細なこと、凡事でもかまわない。これから頑張ることでもOK)
- 自己の振り返りができたら、中学校の先生に報告に行きなさい。(遊びに行くのではなく報告に行く：制服で行くこと、担任、副担、部活の顧問誰でもOK、一人でも友人を誘ってでもOK)

2年生：社会を知る

- 今、島根県、日本、世界が抱える課題(農林関係に限らず)を10個考えてみなさい。

わからない場合は、新聞を読んで考えなさい。それでもわからなければ家族と一緒に話し合ってみなさい。

○課題が10個見つかったら、その課題解決のために自分なりにできることは何か考えてみなさい。

3年生：進路実現

○「ふるさと島根」の良い点を10個言えるようにしなさい。

(自然、環境、文化、歴史、遺産、食、人など多方面から考えること)

○就職や進学のための準備(面接試験、筆記試験、論文)をしっかりとやいなさい。

毎日川に洗濯に行かなければならない。雨の日も風の日も欠かさず、少しずつでもやるのが大切です。

長い夏休み、毎日川で洗濯をし、充実した夏休みにしましょう。